

平成30年度第4回生活交通会議

議事要旨

1. 日 時 平成30年12月7日（金） 10時30分～12時00分
2. 場 所 鳥取市役所本庁舎4階第3会議室
3. 出席者 別紙のとおり
4. 次 第 別紙のとおり
5. 議 事 概 要

【案件1】福祉有償運送の更新登録について

平成30年12月19日で有効期間満了となる「特定非営利活動法人このゆびと一まれ」が運営する福祉有償運送の登録について、引き続き運行を行う内容について協議。

→事務局、「特定非営利活動法人このゆびと一まれ」代表者が資料1に基づき説明し、合意された。

(質問・意見)

【会長】 引き続き必要性があるため、更新されるということによいですか。

【事務局】 そのとおり。サービス内容等に変更はない。

【会長】 ドライバー不足というような問題は。

【事務局】 毎日、利用があることはないので、空いている職員で運行できている。

【案件2】公共交通空白地有償運送の更新登録について

平成20年4月1日より鳥取市社会福祉協議会により運行されている「福部循環バス」について平成31年3月26日に期間満了となるため引き続き運行を行うための協議。

→福部総合福祉センター担当者が資料2に基づき説明し、合意された。

(質問・意見)

- 【委員】 少子化、高齢者の増加等あると思うが利用状況はどのようになっているのか。
- 【事務局】 高齢者については、2便から5便の利用が多くて、1便あたり1人か2人利用。利用目的は年金受け取り、診療所受診である。同居者の送迎で行える高齢者が多いため、バスの利用者が増えない状況。いずれ、同居者の送迎が困難となったら公共交通の利用が見込まれると思われる。
- 【会長】 1日に1人か2人利用で、バスをそのまま走行するか、予約型にするのか考えなくてはいけないのでは。
事業継続できないなら、利用促進などで運行していくしかないのでは。
地域でフィードバックしているのか。
- 【事務局】 運営委員会を1回/年開催しアイデアを話し合っている。構成メンバーは、地元の人。

【案件3】 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

国庫補助受けている路線（米里線・浜村・青谷線、雨滝・青谷線）について事業の期間終了後（平成29年10月から平成30年9月）の事業評価について協議。

→事務局が資料3に基づき説明し、合意された。

（質問・意見）

- 【会長】 B評価となっている路線については人口が少ない関係で目標達成できなかったのか。
- 【事務局】 そのとおり。
- 【委員】 浜村・青谷線については地元、事業者との話し合いはなされているか。どうしたら利用者が増やせるか、意見を吸い上げたほうがよいのでは。検討会を開催するとか、地元に出向き状況の説明をするとか。
- 【事務局】 今年度は、日本交通で利用者アンケート調査をおこなった。運転手不足・バス利用者減少等バス交通の問題は大きくなっている。今後は、市報・ホームページを利用し現状を伝えていくことが必要である。
米里線については地区公民館に出向き地域の代表の方と話し合いをおこなった結果、「必要だ」「同居の家族に送迎してもらおう」などの意見がでた。
人口減少の激しいところもあるので、住民参加型で地元の事に地元にあったようについて考えていただきたいと思っている。

【報告事項1】 くる梨路線再編計画（案）に関する市民政策コメントの実施結果について

『鳥取市 100 円循環バス「くる梨」路線再編計画（案）』市民政策コメント実施結果の報告。

→事務局が資料 4 に基づき報告。

(質問・意見)

特になし

【報告事項 2】市の公共交通の現状について

平成 30 年度第 3 回鳥取市生活交通会議時に今後公共交通をどうしたらよいかとの質問に対し現状の報告。

→事務局が資料 5 に基づき報告。

(質問・意見)

特になし